

事業計画書 (除外)

(記載例)

1. 事業の必要性（申出地において事業を行わなければならない強い事情）

事業内容ごとに、以下の点について整理し、記載すること。

- 必要性・・・事業を行わなければならない理由
- 緊急性・・・除外後直ちに事業を行わなければならない理由
- 妥当性・・・事業目的から見て申出面積が必要な理由

※事業計画書が具体的でなかったり、必要以上の面積規模であった場合は、除外できません。

2. 事業計画の概要（事業内容について具体的に記載してください）

木造平屋建て 1 棟
建築面積：〇〇㎡
事業面積：〇〇㎡

- ①取水方法・・・・・・市営水道
- ②雨水処理方法・・・・・・雨水敷地内浸透処理
- ③汚水等処理方法・・・・・・合併処理浄化槽
- ④擁壁・フェンス等・・・・・・周辺農用地への土砂流出を防ぐため擁壁を設置
- ⑤日照・通風の確保・・・・・・事業による周辺農用地への日照・通風の影響なし

※その他事業内容の詳細を記載すること。

3. 事業スケジュール（除外以後の事業スケジュールを記載してください）

○年○月	土地分筆登記	○年○月	建築工事
○年○月	農地法第○条申請	○年○月	運用開始
○年○月	建築確認申請		
○年○月	都市計画法第○条申請		
○年○月	土地造成工事		

4. 資金計画（事業費の詳細、借入先等について具体的に記載してください）

資金		支出	
〇〇銀行借入	1, 000, 000円	土地造成工事	500, 000円
自己資金	1, 000, 000円	建築費	1, 000, 000円
		諸経費	500, 000円
計	2, 000, 000円	計	2, 000, 000円

5. 他法令の状況

農地法・・・・那須塩原市農業委員会と○年○月○日事前相談済み。
農地転用許可の見込みあり。
都市計画法・・・・那須塩原市都市計画課と○年○月○日事前相談済み。
開発許可の見込みあり。